



↑笑顔で資材を手渡す吉井代表（右から2人目）

★花 NPO法人から土壤改良剤寄贈 づくりに役立てて

5月10日、出水市のNPO法人「How To 21 Club」（吉井秀之代表）から、各学校の花づくりに役立ててほしいと、植物の生育を助ける複合土壤改良資材「笑顔の畑」が、川添健町長に寄贈され、町内の小中学校に配布されました。

吉井代表は『ぐるっと一周フラワーロード事業』をはじめ、長島町のさまざまな取り組みに賛同され、毎年寄贈を続けています。「長島町の景観推進などの取り組みは大変すばらしいと思います。花づくりを通して、心身ともに豊かな子どもたちを育ててください」と笑みを浮かべあいさつしました。

★第6回関西ながしま会交流会 長島弁が飛び交い会話が弾む

長島町の出身者でつくる第6回関西ながしま会（立野弘美会長）交流会が4月21日、大阪市の太閤園迎賓館ダイヤモンドホールで開催されました。

この日は、川添健町長をはじめ総勢210人の出身者が集まりました。交流会では、立野会長のあいさつの後、川添健町長から長島町の近況報告などがあり、参加した出身者らは熱心に聞き入っていました。懇親会が始まると、町特産の焼酎「島美人」が振る舞われ、懐かしいふるさとの味に酔いしれました。

このほか獅子島出身の歌手、水元幸さんの歌と余興や、町の特産品が当たる抽選大会もあり、会場はにぎわいました。



↑たくさんの特産品が用意された抽選大会



↑総会では事業計画や予算について話し合われました

★東 母子寡婦福祉会設立総会 支部と長島支部が合併

4月25日、長島町母子寡婦福祉会（平藪信子会長）の設立総会が長島町保健福祉センターでありました。

この会は、組織的活動により母子寡婦世帯の福祉を増進し、社会的、経済的地位の向上を図ることが目的となっています。これまで東支部と長島支部で活動していました。町の合併から6年を経て、組織づくり、活動内容の再編を考慮し、合併に至りました。

平藪会長は「仲間づくり、親睦の場を提供するため、各種事業を行っていきます。会員でない人も、気軽にご参加ください」と話しました。

